

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	母性看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設・学内
担 当 教 員	中井 京子	実務経験と その関連資格	医療施設にて助産師としての勤務後、助産師教育の経験を有す。 医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》 妊婦・産婦・褥婦と新生児を受け持ち、生理的变化や心理・社会的変化を理解し、対象の健康の保持・増進、役割獲得を助長する援助について考える。また、性と生殖の健康問題を持つ女性を理解し援助の在り方について考える。そして、実習を通して生命の誕生と尊厳、母性・夫性について自己の考えを深めることで子どもを産み育てることに対して関心を高める。さらに、学内で紙上事例を用いたシミュレーションを行い、周産期の看護技術を学ぶ。これらの実習を通し、生涯を通じた母性看護の役割・責任について考える。						
《成績評価の方法と基準》 ルーブリック評価表による能力評価【意欲・関心・態度】①実習を通して体験した事柄や現象について振り返り、母性看護の役割について考えることができる。②実習を通して生命の尊厳や母性・父性についての自己の考えを深めることができる。 【思考・判断】①周産期の特徴、女性特有の疾患について学習するとともに、情報収集しアセスメントすることができる。②アセスメントに基づき、必要となる援助について具体的な支援策を提示することができる。【技能・表現】①対象の特性や状態に応じて、安全・安楽に留意して看護が実践できる。【知識・理解】①実習を通して体験した事柄や現象について振り返り、母性看護の役割について考えることができる。②実習を通して生命の尊厳や母性・父性についての自己の考えを深めることができる。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 母性看護学概論、母性看護学各論、副読本						
《授業外における学習方法》 実習オリエンテーション(①実習要項説明 ②実習記録について ③実習マナー ⑤カンファレンスについて ⑥実習事前学習 ⑦ビジョンゴールシートの記載) 実習後は、実習の学びをまとめ振り返りを行う ⑥コロナ禍の状況においては学内で実習を行う						
《履修に当たっての留意点》 授業内容を振り返り、妊娠期・分娩期・産褥期、新生児の特徴、母性看護に必要な看護技術について復習しておく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	外来・病棟のオリエンテーションを受け、産科病棟・婦人科外来の構造と機能について知る。	所持している教科書・参考書	実習要項を読み、実習で何を学ぶのかをイメージする。 ビジョンゴールシート記載。 実習要項に沿った事前学習。	
		各コマにおける授業予定	病院オリエンテーション、外来および他部門オリエンテーションを受ける。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	妊婦の診察介助、保健指導・助産師外来の見学を行い、妊娠経過と胎児の発育・健康状態、妊婦の心理・社会的変化について理解する。	所持している教科書・参考書	妊娠週数に応じた、妊婦・新生児の身体的特徴、心理・社会的特徴、保健指導内容について学習する。見学、実施した援助について学習する。	
		各コマにおける授業予定	看護師、助産師に同行し、妊婦の診察介助・保健指導、助産師外来の見学を行う。情報収集した内容より、母児の状態をアセスメントする。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	保健指導の見学を通して、母体の生理的变化、心理・社会的変化の適応を促進するために必要な保健指導内容や指導上の留意点について考える。	所持している教科書・参考書	妊娠週数に応じた、妊婦・新生児の身体的特徴、心理・社会的特徴、保健指導内容について学習する。見学、実施した援助について学習する。	
		各コマにおける授業予定	妊婦の診察介助、保健指導・助産師外来の見学を行い、母児の状態をアセスメントする。対象に必要な保健指導について考える。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	分娩進行状態、分娩経過に伴う身体的・精神的苦痛を理解し、必要な援助を指導者ととともに実施することができる。	所持している教科書・参考書	分娩経過、分娩経過に応じた看護について学習する。見学、実施した援助について学習する。 評価表 自己評価	
		各コマにおける授業予定	助産師に同行し産婦の看護の見学(実施)、分娩の見学を行う。産婦がいない場合は、分娩第I期の看護について紙上事例を基にロールプレイングを行なう。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	褥婦の観察やコミュニケーションを通し、褥婦の身体的・心理・社会的適応状態を理解する。新生児の体外生活適応過程が理解できる。または、女性生殖器疾患患者の健康問題を理解する。	所持している教科書・参考書	受け持ち褥婦・新生児、または女性生殖器疾患患者の情報収集、アセスメントを行ない、標準看護計画の追加・修正を行う。実施した援助について学習する。	
		各コマにおける授業予定	褥婦と新生児、または女性生殖器疾患患者を受け持ち、必要な看護計画を立案し実施する。受け持ち可能な対象がいない場合は、褥婦の看護について紙上事例を基にロールプレイングを行なう。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	褥婦の観察やコミュニケーションを通し、褥婦の身体的・心理・社会的適応状態を理解する。新生児の体外生活適応過程が理解できる。または、女性生殖器疾患患者の健康問題を理解する。	所持している教科書・参考書	受け持ち褥婦・新生児、または女性生殖器疾患患者の情報収集、アセスメントを行ない、標準看護計画の追加・修正を行う。実施した援助について学習する。
		各コマにおける授業予定	褥婦と新生児、または女性生殖器疾患患者を受け持ち、必要な看護計画を立案し実施する。受け持ち可能な対象がいない場合は、褥婦の看護について紙上事例を基にロールプレイングを行なう。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち褥婦の身体的・心理・社会的適応状態、新生児の体外生活適応過程、または、女性生殖器疾患が対象の身体・心理・社会面に及ぼす影響についてを解し、援助を考えることができる。生命の尊厳、母性・父性について考えることができる。	所持している教科書・参考書	受け持ち褥婦・新生児、または女性生殖器疾患患者の情報収集、アセスメントを行ない、標準看護計画の追加・修正を行う。実施した援助について学習する。
		各コマにおける授業予定	褥婦と新生児、または女性生殖器疾患患者を受け持ち、必要な看護計画を立案・実施する。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち褥婦の身体的・心理・社会的適応状態、新生児の体外生活適応過程、または、女性生殖器疾患が対象の身体・心理・社会面に及ぼす影響についてを解し、援助を考えることができる。母性看護の役割について考えることができる。	所持している教科書・参考書	受け持ち褥婦・新生児、または女性生殖器疾患患者の情報収集、アセスメントを行ない、標準看護計画の追加・修正を行う。実施した援助について学習する。
		各コマにおける授業予定	褥婦と新生児、または女性生殖器疾患患者を受け持ち、必要な看護計画を立案・実施する。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	妊婦に必要な保健指導内容、指導上の留意点を考えることができる。	所持している教科書・参考書	紙上事例の情報からアセスメントを行ない、妊婦に必要な保健指導内容を考え、保健指導案・媒体の作成を行なう。
		各コマにおける授業予定	紙上事例に基づき、妊婦に必要な保健指導内容を考え、保健指導案・媒体の作成を行なう。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	紙上事例に基づきロールプレイングを行い、分娩第Ⅳ期の看護について理解する。	所持している教科書・参考書	分娩経過、分娩経過に応じた看護について学習する。実施した援助について学習する。
		各コマにおける授業予定	紙上事例に基づき、分娩第Ⅳ期の看護についてロールプレイングを行なう。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全、安楽を考え新生児の観察・沐浴ができる。	所持している教科書・参考書	新生児の観察、沐浴の準備・方法・後片付けについて学習する。実施した援助について学習する。
		各コマにおける授業予定	模型を用いて新生児の観察、沐浴を行う。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象の反応を捉えながら、媒体を用いて保健指導を行なうことができる。	所持している教科書・参考書	紙上事例の状態に適した保健指導案・媒体の作成を行なう。実施した保健指導について振り返る。
		各コマにおける授業予定	紙上事例に基づき作成した保健指導案をもとに、妊婦への保健指導のロールプレイングを行なう。		